

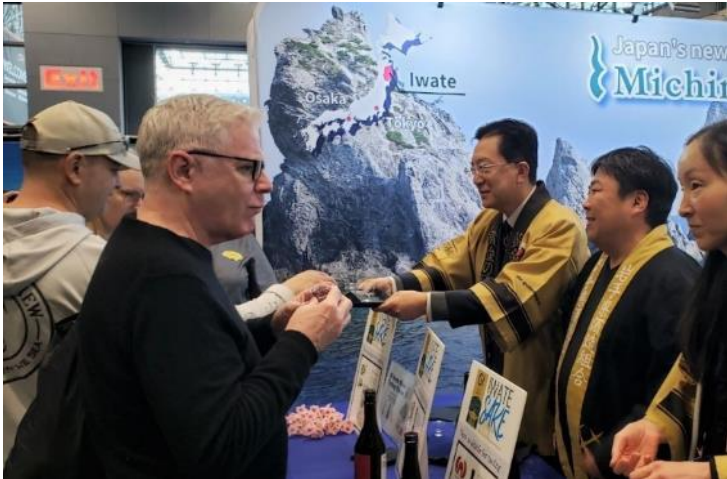
事業概要：いわて加速器関連産業振興事業

継続

申請者	岩手県					初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	149,969千円 (21,156千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・ ものづくりのグローバル拠点化と新産業の創出 ・ 加速器関連産業の振興 ・ 県民の所得向上や質の高い雇用機会の拡大 ・ 本県のものづくり産業全体の人材の育成と確保 ・ 東北における加速器関連産業の世界的な拠点の形成						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 (1) いわて加速器関連産業研究会によるセミナーの開催や、加速器に関する学会や展示商談会等への出展支援 (2) 加速器の専門知識を有するコーディネーターを配置による、シーズの掘り起こしや、研究者や機器製造企業とのマッチングや技術指導 (3) 県内企業が開発した製品の性能評価のための機器を整備により、研究者との技術開発及び企業の技術力の向上に向けた連携強化					 企業向けの技術指導	
	【R8年度事業 経費内訳】 (1) 専門家によるセミナー・企業向け講習会の開催（謝金、旅費） 1,116千円 (2) コーディネーター配置による企業シーズ掘り起こし、マッチング支援及び技術指導（人件費、旅費、使用料、消耗品） 17,731千円 (3) 性能評価機器の運用（物品購入費） 1,474千円 (4) 学会等への出席、研究機関との共同研究（参加費、旅費、郵送料） 835千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	① 加速器関連産業における新規共同開発件数（+4件） ② 県内企業の取引支援件数（+12件） ③ 中高・高等専門学校生見学者数（+95人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.iwate.jp/kensei/seisaku/suishin/1077761/1077881.html

事業概要：関係人口・交流人口拡大事業

旧制度（推進）

申請者	岩手県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	218,621千円 (70,382千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	・観光を取り巻く環境変化に的確に対応するとともに、ニューヨーク・タイムズ紙への盛岡市の掲載による効果を全県に波及させるため、各種観光データを集約・分析するシステム「いわて観光DMP」等を活用した客観的なデータに基づく戦略的な観光施策を展開する。 ・本県ならではの地域資源を活用して地域のにぎわいの創出を図るとともに、ECやSNS等を活用し、県内外へ本県の魅力を発信することで、いつでも、どこでも、誰もが岩手とつながることのできる社会を目指す。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 デジタルマーケティングやDMOを軸に観光地域づくりを進め、外国人観光客の周遊促進や県産品のWEB百貨店開設による外貨獲得を図る。文化芸術の発信や海業モデル創出で地域魅力を高め、SNSを活用した情報発信と県民との双方向コミュニケーションも強化する。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ・デジタルマーケティング・観光地域づくり支援 22,045千円 ・FIT層の誘客促進に向けた観光コンテンツ造成事業 4,936千円 ・東北各県と連携した外国人観光客誘客プロモーションの展開 6,751千円 ・インバウンド県内周遊促進事業 828千円 ・いわてモータースポーツ推進事業 2,893千円 ・文化芸術等を通じた岩手の魅力発信事業 9,956千円 ・地域資源を生かした県産品等のWEB百貨店の設置 7,957千円 ・海業推進モデル 7,463千円 ・SNSでの情報発信の質・量の向上 1,884千円 ・県内における関係人口拡大機運の醸成 5,669千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	① 地域における観光消費額（+385.2億円） ② WEB百貨店（仮称）に参加した事業者の商品の売上（+217百万円） ③ 海業モニターツアー参加人数（+40人） ④ 岩手の魅力を発信する作品・映像等へのアクセス数（+30,829回）		URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL https://www.pref.iwate.jp/kensei/seisaku/suishin/1077761/1077881.html

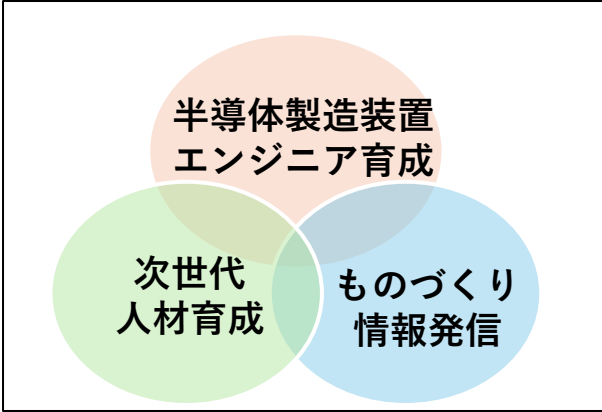
事業概要：移住・定住・雇用応援プロジェクト事業

旧制度（推進）

申請者	岩手県	初回採択回	令和6年度第1回募集	
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	401,044千円 (125,858千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野	
目的・効果	・本県への将来的な地元定着やU・Iターン就職を促進するため、高校生・大学生に向けて、岩手で働く魅力・価値を発信し、早い段階から意識づける。 ・地域ものづくりネットワーク等を中心とした各段階に応じた人材育成、ものづくりへの進路選択や就職につなげる取組を実施し、北上川流域のものづくり産業の高度化・高付加価値化を支える人材の育成・確保を図る。 ・農業を通じた移住・定住を促進するため、県外から移住し、県内での雇用就農を希望する者に対して、農業法人等とのマッチングを行う。			
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 高校生・大学生を対象に、県内外におけるU・Iターン就職やインターンシップの相談対応、専用ポータルサイトを通じた情報発信を行う。 また、県内の小学生以上を対象とした企業見学会や、就農マッチング等を通じ、移住・定住の促進を図る。			
	【R8年度事業 経費内訳】 ・移住・定住応援プロジェクト 情報発信等の強化 61,291千円 ・移住・定住応援プロジェクト 受入態勢等の強化 32,711千円 ・雇用応援プロジェクト 県内企業の魅力向上 1,375千円 ・雇用応援プロジェクト ものづくり人材の育成・確保 27,517千円 ・雇用応援プロジェクト 農業分野の移住・就農 2,964千円			
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	① 地域へのU I Jターン数 (+97人) ② 本事業で実施する工場見学に参加した高校生の数 (+8,700人) ③ 本事業による、市町村・地域団体等が行う定住・交流事業の実施数 (+12件) ④ 新規就農者数 (+840人)		URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.iwate.jp/kensei/seisaku/suishin/1077761/1077881.html

事業概要：半導体関連人材育成推進事業

旧制度（推進）

申請者	岩手県	初回採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	46,095千円 (20,462千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	デバイスメーカーから製造装置メーカーまで多様な半導体関連企業が集積している本県の特徴を生かし、産学官が連携し人材の育成・確保を推進し、半導体関連企業の更なる業容拡大を集積を図り、もって、安定した雇用の創出及び所得の向上による地域経済の活性化を図る。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 産学官が連携し、社会人向け研修や大学・高専での実習、小中高生への出前講座により半導体関連人材を育成する。また、知事のトップセールスを通じてインドとの連携を強化し、県内企業の成長を支える産業基盤の強化を図る。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ・半導体関連人材の育成・確保（委託料）13,735千円 地域企業の特性とニーズに応じた半導体関連人材を育成するため、社会人向けの研修、大学・高専等との連携による実習・企業見学、小中高生への出前講座等を実施する。 ・インドとの連携強化による半導体関連産業基盤の強化 6,727千円（旅費、使用料等） 日印半導体サプライチェーンパートナーシップのもと、知事によるトップセールスを通じた連携強化により、県内半導体関連企業の持続的成長を支える人材をはじめとした産業基盤の強化につなげる。		
		産学官が連携し人材を育成  半導体製造装置 エンジニア育成 次世代 人材育成 ものづくり 情報発信 持続的な人材の育成・確保による企業の業容拡大と集積	
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	① 地域における新規雇用者数（+500人） ② 半導体関連産業の製造品出荷額（+500億円） ③ 県内大学等卒業者の県内就職率（+1.5%） ④ 人材育成施設で実施する社会人向け講座の受講者数（+250人）		URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL https://www.pref.iwate.jp/kensei/seisaku/suishin/1077761/1077881.html

事業概要：気候変動等に適応した持続可能な農業・水産業推進事業

継続

申請者	岩手県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	158,841千円 (55,097千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・近年の夏期の高温等に適応した米の新品種開発により、地球温暖化が更に進行する環境下でも安定した品質を維持し、付加価値の高い米の生産と生産量の増大による輸出の拡大など、国内外から評価される米産地づくりを目指す。 ・地域の気象条件に応じた収益力の高い園芸作物の産地形成により、野菜の生産拡大やブランド化を進め、雇用の創出を図る。 ・高水温等に強いサーモンの安定生産体制の構築により、「定質、定量、定価格、定時」生産を行う、マーケットイン型養殖への転換を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 夏期の高温等に適応した米の新品種開発、地域の気象条件に応じた収益力が高い園芸作物の産地形成を進めるとともに、高水温等に強い県産サーモンの安定生産体制の構築を図ること等により、気候変動に適応した持続可能な農業水産業の実現を目指す。					  高温耐性を持つ米の新品種開発に必要な検定施設	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○夏期の高温等に適応した県オリジナル水稻新品種の早期開発 ・沖縄県との連携による試験等経費（委託料）3,500千円 ・高温登熟耐性検定施設を活用した系統選抜（人件費等）8,169千円 ○地域の気象条件に応じた収益力が高い園芸作物の産地形成 ・施設園芸企業誘致に向けた推進体制整備（負担金等）3,315千円 ・スマート農業技術等による生産拡大モデル実証（委託料等）12,335千円 ・高温対策技術の開発・実証（資材購入費）5,174千円 ○高水温耐性養殖サーモン種苗の開発・効率的生産体制構築 ・種苗開発等経費（飼料代、ICT機器通信費等）2,417千円 ○地域の特色ある気象条件に応じた技術開発・実証及び人材育成の推進 ・革新技術の開発・実証等経費（資機材購入費、報償費等）17,375千円 ○気候変動に適応した持続可能な果樹栽培技術の開発 ・りんご省力化栽培技術の確立・実証（資材購入費）2,812千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①農業経営体一経営体当たりの農業総産出額（+42万円） ②高温登熟耐性を持つ品種・系統の育成数（+10品種・系統） ③加工・業務用野菜の出荷量（+750トン） ④サケ・マス類の海面養殖の生産量（+600トン） ⑤高温対策・農業DX関連技術開発数（+8件） ⑥りんご省力化技術の導入経営体数（+3戸）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.iwate.jp/kensei/suisaku/suishin/1077761/1077881.html

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

事業概要：新たな人の流れの創出に向けた多様な人材確保支援事業

継続

申請者	岩手県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	123,875千円 (42,196千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・今後の本県農林水産業を支えていく新規就業者の確保に向け、遠隔地からでも参加しやすいメタバースを活用した就業相談体制の構築や、担い手の住居確保支援の取組を組み合わせることで実施することにより、移住・定住を希望する若者等の負担軽減を支援し、人口減少下における新たな人の流れの創出を加速する。 ・短期雇用人材や外国人材等の多様な担い手の確保に向け、労働力マッチングアプリ等の活用や受入体制の整備を図る。 ・スマート農業技術を活用した省力化の実証により、生産コストの低減を図るとともに、専門的な知識や経験がない人材でも作業ができる働き方改革を推進し、若者・女性にも選ばれる働きやすい産業として発展することを目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 今後の本県農林水産業を支えていく新規就業者の確保に向け、県内外から関心がある人の呼び込みに取り組むとともに、農業における短期雇用人材や外国人材等の多様な担い手の確保に向け、新たな手法の導入や受入体制の整備を図るほか、人手不足の解消と生産コスト低減に向け、スマート農業技術の導入による省人化を図ることなどにより、今後、更に人口減少の進行が予測されている中においても、本県農林水産業の生産体制の維持・拡大を目指す。					 労働力マッチングアプリを活用した 人材確保のイメージ 出典：農林水産省ウェブサイト (https://www.maff.go.jp/j/wpaper/w_maff/r3/r3_h/trend/part1/zoom/zoom_017.html)	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○メタバースを活用した就業相談会、リモート就農体験ツアーなどの開催 ・開催及び情報発信経費（委託料、会場使用料）3,643千円 ○農林水産業への就業を志す若者等を対象とした住居確保の支援 ・住居貸出に係る管理経費（委託料）26,470千円 ○労働力マッチングアプリ活用等による多様な人材が短期で農業に従事しやすい環境整備 ・研修会、相談活動等経費（報償費、委託料等）3,000千円 ○外国人材活用に向けた理解の醸成及び農福連携に向けた体制整備 ・研修会、動画作成経費（報償費、委託料等）2,838千円 ○スマート農業技術等を活用した実証の実施 ・実証事業経費（委託料）6,245千円						
主なKPI	①農林水産業における新規就業者数（+1,320人） ②就業相談会参加者数（+150人） ③モデル地区におけるアプリ活用による短期雇用人材の確保数（+3,000人） ④省人化に対応した実証件数（+6件） ⑤居住体験による移住者数（+102人） ⑥年間子牛販売頭数（±0頭）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.iwate.jp/kensei/s_eisaku/suishin/1077761/1077881.html

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

事業概要：地場産業の高付加価値・販路開拓推進事業

継続

申請者	岩手県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	106,715千円 (37,699千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	本県の輸出重点品目である加工食品や伝統工芸品等の高付加価値化や海外販路の開拓・拡大を図るため、消費者ニーズの変化や流行トレンドに対応した商品開発や海外へのプロモーション及び県内事業者の海外マーケットへの展開を支援することで、人口減少下における地域資源を生かした産業の振興（地方経済の活性化）を目指すもの。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 地域資源を生かした食品産業の高付加価値化を進め、プラットフォームによる事業者連携や新商品開発を支援する。また、加工食品・工芸品の輸出拡大に向けトップセールスやバイヤー招へいを実施し、海外販路を強化する。加えて、新商品の首都圏での市場調査やPRを行い、国内販路の開拓も図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○食品産業の高付加価値化（新商品開発）に向けた取組 ・食産業振興プラットフォームを活用したBtoBのマッチング支援等の実施（委託料等）2,091千円 ・アドバイザーによる付加価値の高い商品開発・加工・販売までの総合的な支援（報償費等）538千円 ○加工食品、工芸品等の輸出推進に向けた取組 ・県産品トップセールス及び県産品フェア等開催（委託料等）7,408千円 ・北米販路拡大促進（委託料等）3,101千円 ・東南アジア等バイヤー招へい（委託料等）3,024千円 ○首都圏における大型PRイベントの開催 21,537千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	① 県産品輸出額（加工食品・工芸品）（+1.2億円） ② 食産業事業者の商品開発等ビジネス支援件数（+3件） ③ 海外商談会における出展企業数（+150者） ④ 海外商談会等における商談成約等件数（+75件） ⑤ 食料品製造業製造品出荷額（+538億円）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.iwate.jp/kensei/seisaku/suishin/1077761/1077881.html

事業概要：若者から選ばれる企業への転換推進事業

継続

申請者	岩手県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	74,115千円 (26,342千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	県内企業が、若者・女性から選ばれる企業になるとともに、生産性・収益性の向上により末永く事業継続できるよう、経営体質強化や企業としての魅力の向上・発信に、不断に取り組むことができるよう支援 県内企業における、省人化・省力化、高付加価値化、誰もが自己実現や多様な働き方ができる職場環境の構築などに取り組み、労働生産性・労働環境・賃金を一体的に改善し、併せて、県内企業ひいては本県で働き暮らすことの魅力を発信することで、企業イメージや働く場としての本県のイメージの向上、個々の企業の採用力強化などに繋げ、若者・女性から選ばれる岩手を実現						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 県内企業の課題解決や人材育成、デジタル化支援を通じて生産性向上と多様な働き方を実現し、若者・女性に選ばれる企業づくりを促進する。また、北上川流域の産業集積や地場産業の魅力を発信し、県内就職・Uターンを後押しする取組を進める。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○若者・女性に選ばれる企業への変革 ～生産性向上、労働環境の改善と多様な働き方の実現～ ・ 学生と連携した企業課題の解決支援（謝金等）592千円 ・ 企業課題解決に向けた人材育成（委託料）5,700千円 ・ 中小企業デジタル化支援（補助金）5,296千円 ○若者・女性に選ばれる産業集積エリアの形成と魅力の発信 ～都会と地方のアンコンシャス・バイアスの払拭～ ・ 北上川流域(北上川バレーエリア)の情報発信（委託料）2,184千円 ・ 地場産業(縫製業・漆産業)の振興とその未来を担う人材の確保・育成（委託料等）6,527千円 ・ 県内産業集積の魅力や県内企業に対する若者の理解の促進（委託料）2,230千円 等						
主なKPI	①県内大学等卒業者の県内就職率（+1.8%） ②「企業課題解決に向けた人材育成」により社員受入れを実施した企業数（+6件） ③「中小企業デジタル化支援」によりデジタル化支援専門家派遣の支援を受けた企業数（+12件） ④「県内産業集積の魅力や県内企業に対する若者の理解の促進」に資する取組に参加した学生の数（+400人） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL ※交付金の具体的な使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.iwate.jp/kensei/seisaku/suishin/1077761/1077881.html

事業概要：地域資源を生かした稼ぐ観光推進体制構築事業

継続

申請者	岩手県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	201,836千円 (66,274千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・県内の多種多様な観光コンテンツや特色ある伝統工芸品・食品などの地域資源を最大限に生かし、岩手ファンや多様な形で岩手県と継続的に関わる人々を国内外で拡大 ・観光誘客促進による観光消費拡大や、岩手ファンの拡大による県産品の消費拡大等により、県内の広範な産業に経済波及効果がもたされるよう、稼ぐ観光地域づくりを推進						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 三陸地域で観光資源を生かした受入体制を整備し、広域周遊や新ビジネスモデル創出を推進するとともに、ジオパークや潮風トレイルによる連携強化を図る。さらに、農山漁村の活力維持、人材確保や若者との交流、魅力発信、インバウンド対応やクルーズ船誘致を進め、観光消費拡大を目指す。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○三陸地域における受入体制整備 ・観光地域づくりのための総合的なコーディネートの実施（負担金）9,032千円 ・新たなビジネスモデルの構築に向けた調査研究（負担金）7,480千円 ・三陸ジオパーク活動の推進（負担金等）7,773千円 ・みちのく潮風トレイルの受入体制強化（委託料）10,043千円 ○農山漁村におけるグリーン・ツーリズム受入体制整備 ・広域連携による教育旅行等受入体制の整備（委託料）2,512千円 ・農山漁村のコミュニティの活力維持（報償費等）1,100千円 ○観光産業の担い手確保の推進 ・本県の観光や観光業の魅力発信（委託料）15,233千円 ○観光消費額の拡大に向けた取組の推進 ・インバウンド消費拡大の推進（委託料等）2,965千円 ・クルーズ船の誘致・受入体制整備（委託料等）7,178千円 等						
主なKPI	①県内の観光消費額（+320億円） ②三陸ジオパークの主要サイトの観光入込客数（+75千人） ③クルーズ船寄港回数（+9回） ④農林漁家民泊等利用者数（+3,000人回） ⑤観光業就業体験プログラム参加者数（+40人回） ⑥農山漁村における移動支援地区及び地域の賑わい再生支援地区数（+5地区）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.iwate.jp/kensei/seisaku/suishin/1077761/1077881.html

事業概要：若者から選ばれる地域づくり推進事業

継続

申請者	岩手県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	170,768千円 (70,062千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・先人や岩手出身の著名人、文化を活用したプロモーションや高校と連携した取組、また複業や、帰省を契機としたプロモーションを行い、若者の地域に対する愛着の醸成を図る。 ・若者活動交流拠点を核とした若者活躍支援体制の構築、県内外の若者を対象にした若者交流イベントの開催、若者の活動に対する資金面及び人的支援を行い、若者が活躍できる環境づくりを目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 地域団体において、首都圏の若者等と県内企業や団体のマッチングをコーディネートするほか、マッチングした企業や団体とのつながりだけではなく、地域と関わりを持てるようにフィールドワーク等を行い、持続的に県外在住の若者等と地域が繋がることができる仕組みの構築を行うとともに、その複業人材が次なる「関係案内人」の役割を担うことができるような人材育成を行うほか、民間若者団体と連携し、若者の交流・相談体制を構築する。また、市町村やNPO団体等と連携し、地域と高校の協働体制を構築する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○先人や岩手出身の著名人、文化を活用したプロモーション 23,498千円 ○高校と連携した取組 19,455千円 ○複業等を通じた地域活性化 7,312千円 ○帰省を契機としたプロモーションによる担い手の確保 3,260千円 ○アンコンシャス・バイアスの解消 848千円 ○若者が活躍できる環境づくり 15,689千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	① 高卒者の県内就職率（+15%） ② 地域への愛着を感じている割合(18歳～30歳代)(+8.28%) ③ 「自分の住む地域には良いところがあると思いますか」に対して「そう思う」と回答した割合（高校2年生）（+9%） ④ 移住定住ポータルサイト公式Xのフォロワー数(+900フォロワー) ⑤ 事業を通じて成立した複業等のマッチング件数（+75件） ⑥ 若者活動交流ポータルサイト新規団体登録者数(+21団体)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.iwate.jp/kensei/seisaku/suishin/1077761/1077881.html

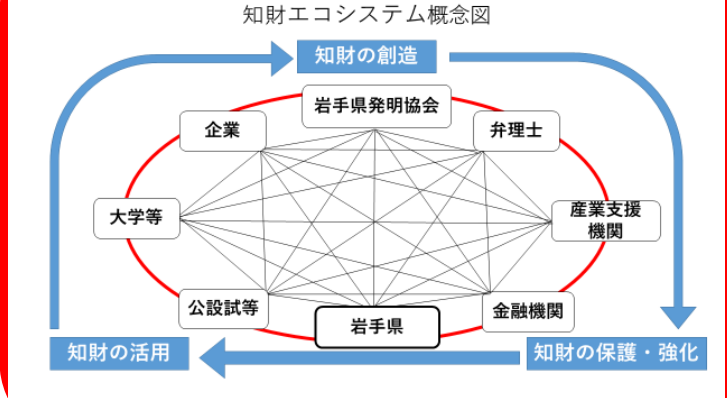
事業概要：県産農林水産物の評価・認知度向上

新規

申請者	岩手県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	157,730千円 (63,464千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	国内外における県産農林水産物の評価・信頼は、これまでの取組により着実に高まっているものの、近年、経済のグローバル化の進展等により産地間競争が激化していることから、今後、人口減少や高齢化により国内市場が縮小すると見込まれている中、他都道府県との差別化に向けて、県産農林水産物の販路の開拓・拡大や評価・信頼の向上とともに、県産農林水産物のブランド力強化のほか、海外への輸出促進に向けた取組を進める。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・本県産の米、牛肉、水産物の評価・認知度の向上に向け、本県のオリジナル水稲品種「銀河のしずく」の販路の多角化や、肉用牛の食味に係る評価基準の策定、全国和牛能力共進会出品牛造成の取組支援を進めるとともに、ブランディングによる県産養殖サーモンの知名度向上、高水温に強い養殖種への転換や増加している資源の利用促進等の取組を実施するほか、生産者と首都圏実需者とのオンライン商談機会を提供する。 ・また、北米市場への販路拡大に向けた可能性調査や、県産農林水産物の認知度向上に向けた知事海外トップセールスやフェア開催などの取組により、県産農林水産物の輸出を促進する。					 銀河のしずく Ginga no Shizuku いわて牛  県産養殖サーモン	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○県オリジナルブランド米品種の10周年事業と合わせた販路拡大 ・「10周年生産者大会」開催、販売・PR活動経費（講師謝金、委託料等）3,465千円 ○評価基準の策定・数値化や共進会入賞に向けた取組による県産牛肉の評価・信頼向上 ・サンプル解析・官能評価、出品牛育成支援等経費（需用費、補助金等）10,735千円 ○養殖サーモンのブランド化や高水温に強い養殖種への転換等による県産水産物の評価向上 ・ロゴ作成、販売会開催、養殖種転換支援等経費（委託料、補助金等）19,518千円 ○生産者と首都圏等の実需者とのオンラインによる商談機会の提供 ・オンライン商談会開催経費（委託料）599千円 ○知事海外トップセールス等による県産農林水産物の輸出拡大 ・知事トップセールス、フェア開催、フィジビリティ・スタディー等経費（負担金）29,147千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①本県における農業・漁業産出額（＋390億円） ②「銀河のしずく」作付面積（＋2,200ha） ③脂肪の質・脂肪の形状の測定のべ頭数（＋1,200頭） ④県内のワカメ養殖の水揚量（＋252t） ⑤県産農林水産物の輸出額（＋18億円）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.iwate.jp/kensei/seisaku/suishin/1077761/1077881.html

事業概要：多様な主体や技術を活用したイノベーションの創出

新規

申請者	岩手県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	225,364千円 (73,318千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・DX・GX及び安全・安心な地域づくりに貢献する有望な研究を基盤研究段階から事業化まで一貫して支援することによる産学官イノベーションの創出を推進する。 ・A I 活用人材の育成、岩手県北地域における地域課題に解決に向けた産学官連携を推進する。 ・知的財産を通じたイノベーションの創出による地域振興、岩手県北地域の持続的な発展につながる地域振興の実現を目指すことで産業振興を下支えし、今後のさらなる産業成長の原動力となるものであることから、地域主導で形成されるクラスターに位置付けている。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 DX・GX及び安全・安心な地域づくりに貢献する有望な研究を基盤研究段階から事業化まで一貫して支援することによる産学官イノベーションの創出推進やA I 活用人材の育成、岩手県北地域における地域課題の解決に向けた産学官連携の推進等を行うことにより、知的財産を通じたイノベーションの創出による地域振興、岩手県北地域の持続的な発展につながる地域振興の実現を目指す。					知的財産の創出・活用支援 知財エコシステム概念図  知財の創造 知財の活用 知財の保護・強化 岩手県知的財産活用推進プランの目指す姿	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ 知的財産の創出・活用支援 12,068千円 ○ 官民連携の推進による科学技術の活用及びAI人材の育成 57,450千円 ○ 産学官連携の推進による岩手県北圏域の振興 3,800千円						
主なKPI	①岩手県内の知的財産（特許、実用新案、意匠、商標）の出願件数（+85件） ②本事業により支援した研究開発のうち、本事業以外の新たな競争的資金を獲得した研究開発（+4件） ③東京大学「三陸ふるさと社会協創センター」との共同研究開発による成果物が活用された件数（+5件） ④企業課題に対して、工業技術センターがナノテラスを利用して課題解決または進捗が図られた件数（+5件） ⑤岩手県北地域における生成AIの導入事業者数（+9者）					URL	※交付金の具体的な使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL https://www.pref.iwate.jp/kensei/seisaku/suishin/1077761/1077881.html

事業概要：世界に開かれたスタートアップ成長促進、若者・女性の起業促進環境創出による地域経済持続化向上プロジェクト

新規

申請者	岩手県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	86,743千円 (26,007千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・地域の多様な主体との連携を強化しながら、国境、県境を越えた起業家育成やスタートアップ支援を強化することで、起業エコシステムを形成し、地域発の新たな成長産業の創出につなげる。 ・若者と女性向けに特化した起業支援プログラムを実施することで、若者・女性が起業しやすく活躍できるまちづくりを推し進め、地域経済の持続可能性を向上させるとともに、若者・女性が活躍できる持続可能な地域経済を実現する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 国内外の投資家や起業家等を本県に呼び込み、本県スタートアップ等との交流や連携、協業を推進する仕組みを作ることにより、投資拡大と事業拡大につなげ、高い成長を実現するスタートアップを創出し、本県スタートアップの本県経済へのインパクトを高める。 また、地域内での起業マインド醸成を図り、社会減が著しい若年層や女性の起業を支援することで、県内経済の新陳代謝を促進し、若者・女性が起業しやすいまちづくりを推し進め、地域経済の持続可能性の向上を目指す。					海外ベンチャーキャピタルと連携した 国際スタートアップカンファレンスの開催 『世界に開かれた地方創生』を岩手から進める ○国内外投資家・起業家・企業の交流・連携・協業 ○県内スタートアップへの投資拡大、事業拡大	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・海外ベンチャーキャピタルとの連携（負担金）20,968千円 ・若者・女性の起業支援 ① 若者・女性起業家ピッチ大会開催経費（委託料等）1,418千円 ② 起業家教育プログラム実施経費（委託料等）2,836千円 ③ 支援体制強化・プラットフォーム関係機関の交流（委託料等）785千円					若者・女性の起業支援 『若者・女性が活躍できる持続可能な地域経済』の実現 ○若者・女性が起業しやすく活躍できるまちづくり ○若者・女性起業家の県内定着	
主なKPI	①国内外のベンチャーキャピタルからの資金調達額（+3.8億円） ②本事業における若者・女性起業家及び高成長を目指すスタートアップ創出数（+270人） ③国際スタートアップカンファレンス参加者数（+900人） ④県内スタートアップと国内外投資家とのマッチング数（+45件） ⑤いわて女性起業家ネットワークの参加者数（+90人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.iwate.jp/kensei/seisaku/suishin/1077761/1077881.html

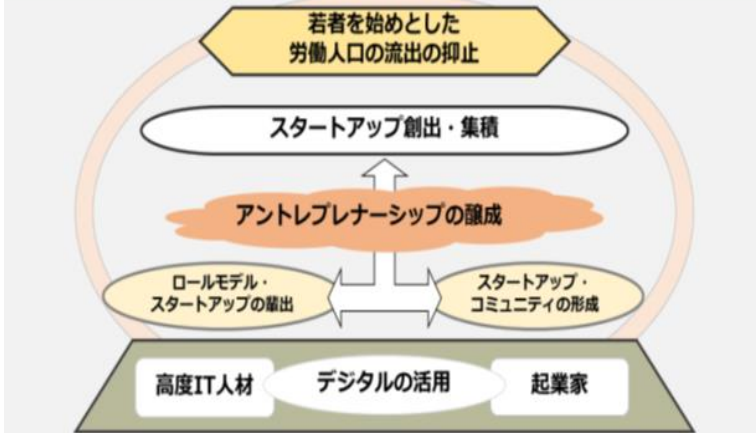
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

事業概要：外国人材確保と共生事業

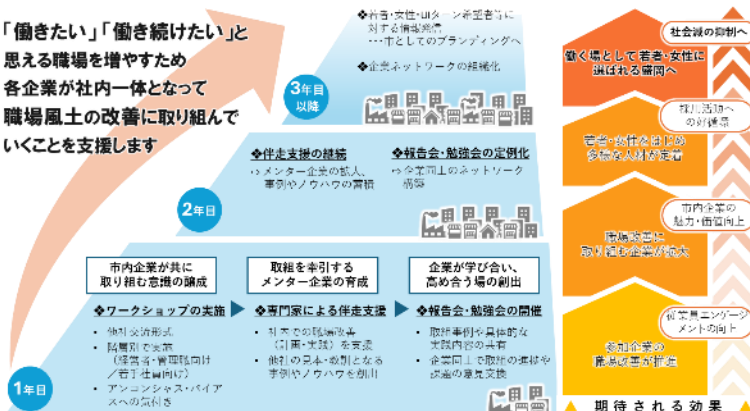
新規

申請者	岩手県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	12,782千円 (2,594千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・外国人材の受入・定着を支える企業支援を強化し、特に小規模事業所の受入体制づくりを後押しする。 ・多様な国籍の外国人県民の増加を踏まえ、誰もが能力を発揮できる環境を整え、地域の活力向上を目指す。 ・多文化共生の理念を普及し、外国人県民が安心して暮らせる地域づくりを進める。これにより、地場産業を担う企業が必要な人材を確保しやすくなり、生産性の向上や新事業の展開、販路拡大などの取組を継続的に進める土台の強化を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 外国人材の受入を希望又は検討する企業を対象とした電話相談窓口（サポートデスク）を設置し、採用に関するノウハウや受入体制の構築に関する相談に対応するほか、県内企業における外国人材活用の優良事例をまとめた冊子を作成・提供することにより、企業間での取組の横展開を図る。 また、サポートデスクの設置に伴う電話相談に加え、県内企業が実施した外国人材の受入に当たって必要となる事業所や社員寮の改修などを支援する補助事業を実施。					外国人雇用サポートデスク  事業主又は人事担当者 相談前 相談後 ※ イメージ図	
	【R8年度事業 経費内訳】 外国人材の雇用に係る電話相談窓口（サポートデスク）の設置 ・サポートデスクの開設・運営費（委託料）2,594千円						
主なKPI	①労働力率（15歳以上の労働力人口/15歳以上の人口、「労働力調査」にて四半期に1回調査）（+0.9%） ②外国人材の雇用に係る電話相談窓口（サポートデスク）受付件数（+180件） ③電話相談を通じて外国人材の雇用に対する課題が整理できたと回答した企業の割合（+15%） ④県内の外国人労働者数（+2,100人）					URL	https://www.pref.iwate.jp/kensei/seisaku/suishin/1077761/1077881.html
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値						※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	

申請者	岩手県盛岡市					初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	18,000千円 (6,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・地域のスタートアップの創出・集積を推進し、域内での起業・就業により若者を始めとした労働人口の流出を抑止する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 地域を先導するスタートアップをロールモデルとして市が認定し、広く発信することで起業家の社会的評価の向上を図る。また、地域のスタートアップに対して起業経験者、外部専門家等と連携したメンタリングやセミナーを開催し、事業の成長の加速化とコミュニティ形成を促す。					盛岡スタートアップ成長加速支援事業イメージ  	
	【R8年度事業 経費内訳】 ロールモデル・スタートアップ認定事業 ・ロールモデル・スタートアップ掘り起こし調査（委託料） 500千円 ・認定企業の募集、審査、認定（委託料） 1,000千円 ・ウェブサイト運営等情報発信（委託料） 1,000千円 スタートアップ・コミュニティ形成事業 ・セミナー開催（委託料） 1,000千円 ・メンタリング個別経営指導・フォローアップ（委託料） 1,500千円 ・ピッチイベント等開催による資金調達・交流支援・上場支援準備（委託料） 1,000千円						
主なKPI	①地域における新規雇用者数（+5人） ②コミュニティ参加者による起業件数（+2件） ③コミュニティ参加スタートアップによる資金調達件数（+5件） ④コミュニティ参加者数（+163者）					URL	https://www.city.morioka.iwate.jp/shisei/keikaku/sogotekiplan/1009760/1045034/1054473.html
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値							※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

事業概要：若者・女性に選ばれる働き続けたい職場づくり推進事業

新規

申請者	岩手県盛岡市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	18,150千円 (6,050千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・企業の魅力や価値が向上することで、従業員の定着意識が高まるほか採用活動への好循環が生まれ、人材の地元定着に寄与する。また、従業員の主体性が高まり、労働生産性の向上が図られる。 ・「働き続けたい」と思われる市内企業が増え、働く場として盛岡が選ばれることで、人口減少社会のもと企業が目指すべき「労働生産性の向上」にもつながる有効な取組として、市内企業の持続的な成長、ひいては、地域経済の維持及び拡大に資する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 市内各社において職場風土の改善等の取組が推進・普及されるよう、企業同士の学び合いの場として勉強会等を開催する。勉強会等では取組実践企業がメンター役となって事例やノウハウを教授し、改善モデルを市内企業に普及する。なお、メンター役となる実践企業を育成するため、伴走支援を実施して、優良事例や改善モデルを集中的に構築する。また、参画企業のネットワーク化を図り、本取組を市内企業に拡大し、地域としてのブランディングにつなげていく。 【R8年度事業 経費内訳】 ・意識醸成のためのワークショップ開催、メンター役実践企業を育成する伴走支援、指標設計とその活用支援、実践企業による成果事例報告会の開催等（委託料）6,000千円 ・事務費 50千円						
主なKPI	①市内人口における若年層の転出超過数（±0） ②本取組に参画して職場改善に取り組む市内企業数（+100社） ③取組参画企業のうち「自社を働きやすく、働きがいがある職場だと感じている従業員が7割以上いる企業」の割合（+40%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.morioka.iwate.jp/shisei/machizukuri/1022552/1055459.html

事業概要：高度IT人材育成支援事業

新規

申請者	岩手県盛岡市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	46,200千円 (15,400千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・盛岡市のリーディング産業として企業の集積が進む「情報通信業」において、I T 関連企業のITビジネススキルの向上を促進しながら、産業クラスターを形成させることで、地域内における情報通信業の付加価値向上を目指す。 ・地域産業クラスターが主体的に学生のデジタル人材育成に取り組むことで、地域社会のデジタル化を担う若者を育成するとともに、地域企業の人材確保の課題を解決することで企業の競争力・稼ぐ力を高める。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 企業へのヒアリング、アンケート調査（40社）及び関係団体との協議の結果、付加価値の高い事業・取引の実現に必要なマネジメント能力の不足が判明したため、I T 関連企業を対象にプロジェクトマネージャーの育成を支援するとともに、企業間の交流機会を促進し、育成後のフォロー体制を構築しながら、産業クラスターを形成する。 また、若者の地域企業の認知度不足及び理工系人材の県外流出が顕著であるため、学生等を対象に地域企業の理解を深め、デジタル技術によるシステム開発体験講座等を開催しながら、産学官連携による I T 人材育成のエコシステムを構築する。					高度IT人材育成支援事業 プロジェクトマネージャー育成事業 ・ITビジネススキルの習得 ・受講者間の交流(フォローアップ) ・参画企業によるクラスター形成 若者ITキャリア形成支援事業 ・IT人材としての働き方の発信 ・デジタル技術を活用した開発体験 ・地域企業の魅力調査・発信 等 IT産業クラスター 地域のIT関連企業 若者次期デジタル人材 地域企業へ就職 地方創生を推進 高等教育機関 IT産業クラスターによる 人材育成の エコシステム 売上・付加価値向上 (上流工程への移行) 競争力向上 地域一体となった 高度デジタル教育 地方創生人材の育成・確保	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・企業を対象としたプロジェクトマネージャー育成講座（委託料） 5,513千円 ・学生を対象としたデジタル人材育成講座の実施（委託料） 9,887千円						
主なKPI	①盛岡市における情報通信業の売上高（+17,421百万円） ②盛岡市における情報通信業1社あたりの付加価値額（+100百万円） ③新規プロジェクトマネージャー数（+60人） ④ I T 産業クラスター企業数（+12社） ⑤県内学生の情報通信業就職者数（+45人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.morioka.iwate.jp/shisei/machizukuri/1022552/1055459.html

事業概要：赤崎地区多目的広場を拠点とした交流人口拡大と地域活性化事業

新規

申請者	岩手県大船渡市						初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	660,353千円 (11,000千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業			
目的・効果	・積雪の少ない比較的温暖な気候を生かし、屋外スポーツ拠点を形成し、大会やイベントなどの開催、合宿利用の誘致をすることで、交流人口の拡大を図り、地域経済の活性化とにぎわいある地区づくりの活力とする。 ・大会の開催や合宿誘致により、市外から人を呼び込む流れを生み出し、観光消費額の増加を図る。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 人工芝サッカーグラウンドを新たに整備し、隣接地の既存グラウンドと一体的に活用することで、新たな地域スポーツ拠点を形成し、大会やイベントの開催、合宿利用の誘致により、交流人口の拡大が図られることで、市内の宿泊業、飲食業などの観光関連産業へ多大な経済波及効果がもたらされことや、地域経済全体の活性化にも寄与する。							
	【R8年度事業 経費内訳】 ○赤崎グラウンド第2グラウンド（仮）整備事業（1年目） ・設計業務 11,000千円							
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①交流人口（+3,140人） ②赤崎地区多目的広場（本施設含む）の利用者数（+9,000人） ③赤崎グラウンド（既存）の利用者数（+1,000人） ④県大会規模の大会開催回数（+4件） ⑤スポーツ合宿の利用者数（+250人） ⑥スポーツ交流イベントの開催数（+5件）						URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和9年3月公表予定

事業概要：女子野球で未来を創る地域活性化プロジェクト

継続

申請者	岩手県花巻市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	646,089千円 (268,547千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	女子野球タウンとして女子野球の普及振興を行うことで、相乗効果的に野球人口が増加し、「野球のまち」としての魅力向上を図る。 また、メイン球場のトイレやロッカー整備、更にはラバーフェンスの張り替えやナイター照明のLED化により、男女問わず使いやすい球場とすることで利用促進を図り、野球をきっかけとした交流人口が増えることで、地域活性化を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・「女子硬式野球イーハートブはなまき大会」の開催支援と、女子野球タウンのPR。 ・著名な女子野球選手などを講師とした少年少女野球教室やエキシビジョンマッチを行う、(仮称)はなまき女子野球タウンフェスティバルの開催。 ・メイン球場である花巻球場のトイレ改修や選手控室等の改修工事、ナイター照明のLED化、ラバーフェンスの張り替え工事を行う。					  花巻市は女子野球を応援しています！ 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業経費 ・女子野球大会の開催支援に関する事業 481千円 ・技術の普及推進と野球人口拡大に関する事業 2,903千円 ○拠点整備事業経費 ・内野トイレ等改修工事費 84,276千円 (電気設備工事、機械設備工事、工事監理含む) ・選手控室等改修工事費 172,373千円 (電気設備工事、機械設備工事、工事監理含む) ・ラバーフェンス改修工事実施設計 1,650千円 ・ナイター照明LED化工事実施設計 6,864千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①大規模スポーツ大会やイベントの入込者数 (+8.7万人) ②スポーツ教室等(市関連事業)の参加率 (+10.2%) ③花巻球場の利用人数 (+10,500人) ④小中学生の野球人口 (+19人)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.hanamaki.iwate.jp/shisei/shisei/shisaku/1002860/index.html

事業概要：かわまちづくり推進事業

新規

申請者	岩手県花巻市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R12年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	298,760千円 (18,760千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	北上川の豊かな河川空間「かわ」を活用し、観光・交流促進や地域の賑わいの創出に取り組む施策として「花巻地区かわまちづくり計画」を掲げ、川沿いのハード整備により河川周辺での体験型アクティビティや民間団体による活動、さらには新たなイベントの展開などを通して、賑わいのある河川空間を創出し、新たな観光拠点とすることで、交流人口の増加を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 河川管理者（岩手河川国道事務所）と共同で行う河川沿いのハード整備に加え、既に実施されているアクティビティや河川周辺での活動、さらには公募による新たなイベントの展開などを通して、中心市街地に隣接する公共空間である河川敷の魅力を最大限に活かし、賑わいのある河川空間を創出することにより、観光客などの交流人口を増やす。 水上アクティビティの運営における安全性と利便性を向上させるため、船着き場とその周辺整備や休憩地点の整備を行う。また、河川空間でのイベント展開のため北上川河川敷の利用環境充実を図るため、広場整備とその周辺整備を行う。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 18,760千円 ・イギリス海岸トイレ整備 11,900千円 ・朝日橋エリア（北上川河川敷）整備実施設計 2,500千円 ・銀河大橋駐車場整備 4,360千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額単価（+8千円） ②水上アクティビティ利用者数（+400人） ③北上川河川敷におけるイベント開催数（+8回） ④北上川河川敷におけるイベント来場者数（+1500人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和9年11月公表予定

申請者	岩手県北上市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	69,424千円 (25,333千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	市立公園展勝地内に世界の人気キャラクターをモチーフにした公園を活用しイベントを実施することにより、老若男女問わず市立公園展勝地への来園者を増やし、さくらまつり開催時期だけでなく賑わいの創出、北上市の認知度の向上、関係人口の拡大を図る。 展勝地桜並木長寿命化対策事業、桜並木の選定・施肥体験を実施することにより、展勝地桜並木をこれからも楽しんでもらえる環境の整備、まちへの愛着や誇りの醸成を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 東北有数の桜の名所として知られている市立公園展勝地であるが、一般的には寿命が60年といわれるソメイヨシノがほとんどであり、植栽されてから約100年が経過している。樹勢調査を実施し、桜並木の健全育成に必要な策を検討し、いない外からの観光客やファンの獲得による関係人口の創出、市民に愛着や誇りを持ってもらうため、市立公園展勝地桜並木という観光資源の磨き上げに取り組む。また、専門家（樹木医）を招き、桜の剪定講習会・施肥の講習会を開催し、桜守を育成する。これらとあわせて、令和7年度に市立公園展勝地敷地内に開園したインツブテ公園 inきたかみでのシティプロモーション事業を実施し、閑散期においても観光客を呼び込み、賑わいを創出し、関係人口の拡大を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業経費 ・樹木医アドバイザー謝金 103千円 ・桜並木樹勢調査 委託料5,000千円 ・イベント委託料 230千円 ○拠点整備事業経費 ・市立公園展勝地桜並木工事 土壌改良60本、不定根誘導30本、並木柵工11箇所 20,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①年間観光客数（+694,500人） ②市民意識調査における「北上市に愛着や誇りを感じていますか」の問いに対する「とても感じる」「やや感じる」と回答した人の割合（+17.4%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年6月公表予定

事業概要：ふるさと自然体験による企業へのウェルネスサポート事業

継続

申請者	岩手県久慈市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	33,678千円 (10,928千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	当市の自然資源を活かした「健康増進に効果のある自然体験プログラム」を企業向けに新開発し、市内外の多くの企業に参加してもらうことにより、当市の関係人口拡大を目指す。 体験プログラムの提供と同時に、参加企業の健康経営優良法人認定へ向けた支援を行うことにより、当地域の企業の魅力度向上を図り、若者のUターン増加を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 関係人口の確保に向け、当市で従来から確立されている自然資源を生かした体験プログラムを企業向けに新開発し、広報活動及び受け入れ態勢の整備を行う。また、体験プログラムの実施により参加した企業の経営健康化、従業員の心身の健康化に貢献でき、さらには地域内の健康経営優良企業数が増えることにより、地域の魅力向上、地元雇用の拡大、従業員の地元定着につなげていく。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○企業への宣伝と提案 ・企業向け自然体験旅行企画立案、受入体制構築（補助金）9,500千円 ・企業向け自然体験旅行PR（役務費）220千円 ○企業向け自然体験の実施 ・自然体験インストラクター（報酬・手当）271千円 ・企業向け自然体験旅行事務経費（消耗品・燃料費・印刷製本費）（需用費）420千円 ・企業向け自然体験旅行受入地区開発（委託費）517千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①久慈市へのUIターン数（+5人） ②自然体験プログラム活用企業・事務所数（+20件） ③自然体験プログラム活用人数（企業・一般団体・個人）（+500人） ④市内における「いわて健康経営認定事業所」新規登録数（+3件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.kuji.lg.jp/soshiki/seisakusuishin/1/7/2/1844.html （効果検証）同上

事業概要：スポーツツーリズム拠点整備推進事業

継続

申請者	岩手県遠野市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	984,308千円 (725,590千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	- 遠野運動公園をスポーツツーリズムの推進拠点として整備し、スポーツ大会やスポーツ合宿に加え、コンベンション 等多様な利活用を通じ新たな産業を創り出すとともに波及効果を活かしたまちづくりを目指す。 - 整備に合わせてスポーツコミッションを推進する体制を構築し、スポーツツーリズムに加え、観光分野の課題解決を 図り、地域経済の活性化を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 地域活性化に向けて、スポーツ大会の開催やスポーツ合宿の実施に加え、コンベンションやコンサート等の多様な利活用を通じ、新たな産業集積を創り出し、スポーツの波及効果を活かしたまちづくりを推進するため、遠野運動公園をスポーツ拠点施設として整備する。 また、施設内にスポーツコミッション推進の組織を設置し、観光関係団体等と連携してスポーツツーリズムを推進する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・スポーツコミッション推進業務委託料 3,000千円 ・スポーツツーリズム推進に向けた機運醸成イベント事業委託料 3,900千円 ・スポーツコミッション推進組織ホームページ構築委託料 2000千円 ・プロスポーツチームと連携したテストマーケティング委託料 1,500千円 ○拠点整備事業 ・遠野運動公園陸上競技場の競技用具収納の倉庫新築 50,427千円 ・遠野運動公園陸上競技場の全天候化及びAIカメラ、同公園野球場のスコアボードのLED化 608,523千円 ・遠野運動公園陸上競技場の競技用具及び投光器購入 56,240千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①施設利用者の観光消費額（＋2億7,000万円） ②施設利用者数（＋33,000人） ③スポーツ大会及び合宿開催数（＋143回） ④スポーツ大会及び合宿市内宿泊者数（＋11,400人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.tono.iwate.jp

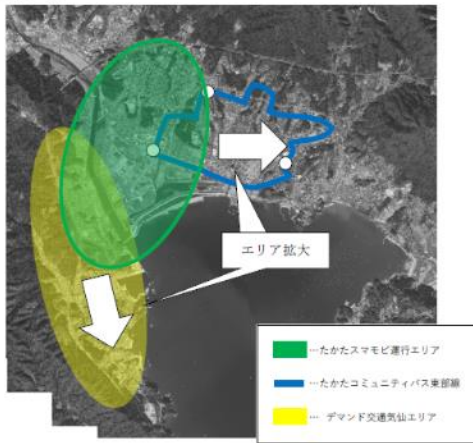
申請者	岩手県遠野市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	171,963千円 (67,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	●人口減少下でも持続可能な地域経済の成長を実現するため、官民協働による「遠野SDGs官民共創ネットワーク」を構築し、GX推進組織やDMO等が連携した「遠野サステナブルプロジェクト」を創出する。 地域課題解決型電力メニューや持続可能な観光事業により得られる利益を地域の課題解決に還元する仕組みを確立し、分野横断的な相乗効果を生み出す。 ●市民の地域課題への関心向上と若者の地域参画促進により、民間アイデア・資金を活用した自律的な地域課題解決体制を構築し、経済・社会・環境の統合的発展を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 官民共創・協働で持続可能な地域の発展を目指すため、次の①から③までに掲げる事業を展開し、地域の魅力向上を推進する。 ①設立されたGX推進組織の事業計画と運営体制を固め、サステナブルプロジェクトの創出と実行の基盤を構築する。 ②既存DMOと連携したサステナブルツーリズムと二次交通の実証を行うとともに、企業版ふるさと納税やクラウドファンディング等の寄附募集のためのPR活動や関係人口拡大に関する施策検討を継続して実施する。 ③既存観光施設等のリブランディングのため、サウンディング型市場調査の結果を踏まえた改修事業の手法を検討する。					 〈遠野サステナブルビジョン2030〉の実現	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・上記①の事業に係る経費（委託料）25,000千円 ・上記②の事業に係る経費（委託料）22,000千円 ・上記③の事業に係る経費（委託料）20,000千円						
主なKPI	①市内エネルギー自給率（+18%） ②観光消費額（一人当たり）（+1,300円） ③官民共創プロジェクト参加事業者数（+60社） ④遠野に住みたいと思う市民の割合（+0.6%） ⑤若年層（20～39歳）の社会増減（+30人） ⑥市域からの二酸化炭素排出量（▲5.8万トン-CO2）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.tono.iwate.jp/index.cfm/45,81538,247,html

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

事業概要：陸前高田市AIオンデマンド導入事業

新規

申請者	岩手県陸前高田市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	60,267千円 (23,642千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・AIを導入した市内乗合タクシー路線を拡大することにより、擬似的なドアツードアをより広域の範囲で実現し利便性の向上を目指す。 ・公共交通のみならず一般乗用旅客運送事業への横展開を図ることにより、事業者の運行効率化や持続性の向上につなげる。 ・キャッシュレス決済及びMaaSの導入確立を進めることにより、地域外の利用者の利便性向上、交流人口の増加につなげる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 1. AIオンデマンド交通の市内中心部への広域的な展開 AIオンデマンド交通の実証運行の範囲を、高田町東部及び米崎町に拡大し、市内中心部を広くカバーする運行を行うとともに、地区ごとの移動需要や乗降ポイントの需要を把握する。 2. 既存デマンド交通エリアへの展開及び統合 従来型のデマンド交通を行っているエリアのうち気仙エリア全域に運行エリアを広げ、AIオンデマンド交通に一本化する。 3. キャッシュレス決済の導入及びMaaSの確立 運賃の支払にキャッシュレス決済を導入し、併せてBRTなどと連動した予約・決済が行えるシステムの構築を目指す。これにより、域外の観光客などの利便性が高まり、交流人口の増加に寄与する。					 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・AIオンデマンド交通実証運行・本格運行に係る事業 14,660千円 ・AIオンデマンド交通のエリア拡大に関する事業 8,982千円						
主なKPI	①AIオンデマンド交通を含めた公共交通機関の利用率（+9%） ②AIオンデマンド交通の利用者数（+4,257人） ③スマートフォンアプリ、LINE又はWEBを介した予約の割合（+16%） ④AIオンデマンド交通のオンライン決済の割合（+35%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.rikuzentakata.iwate.jp

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

事業概要：釜石オープン・フィールド・カレッジ推進事業

旧制度（推進）

申請者	岩手県釜石市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	45,000千円 (15,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	東京大学をはじめとする、高等教育機関との連携を図りながら、市全体が学びとなる場を構築し、様々な学びの場を創出することで、当市の未来を担う人材の育成や、あらゆるライフステージに応じた学びの場の提供に加え、地域外の大学生や社会人を呼び込むことで、新たなつながりを創出し、持続的な交流人口の増加を図る。 デジタル技術を活用しながら当市を繰り返し訪れる仕組みを構築し、将来的な移住定住につなげていく。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 市全体が「学び」の場となる「オープン・フィールド・カレッジ」を構築し、様々な学びや体験を通じて、当市でしか味わうことができない「学び」のコンテンツを提供し、交流人口の増加を図る。また、域内の多様な事業者と連携し、釜石での仕事だけでなく、環境や教育、社会経済などを「学べる」地域として形成することで、域外から釜石を学びたい来訪者を増やし、さらに、釜石のフィールドスタディを高等教育機関での単位認定型授業として確立することで、持続的な交流人口の増加や地域の担い手確保にもつなげる。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ○釜石オープン・フィールド・カレッジ運営体制強化事業 1,000千円 ・運営体制強化委託料 1,000千円 ○持続可能な地域づくりに関するモニタリング事業 2,500千円 ・持続可能な地域づくりモニタリング委託料 2,500千円 ○フィールドスタディプログラム造成事業 6,000千円 ・フィールドスタディプログラム造成委託料 6,000千円 ○釜石オープン・フィールド・カレッジプロモーション事業 5,500千円 ・釜石オープン・フィールド・カレッジプロモーション委託料 5,500千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①地域へのUIターン数（+15人） ②「フィールドスタディプログラム」を活用しながら釜石で活動する人の数（+50人） ③プラットフォーム登録者数（+250人） ④再訪希望者数（+270人）		
	URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL		
		釜石市HP https://www.city.kamaishi.iwate.jp/docs/2020011500106/	



事業概要：つながり人口創出による地域共創ネットワーク構築事業

継続

申請者	岩手県釜石市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	118,050千円 (31,910千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	ワーケーションの推進及び地域共創ネットワークの構築により、つながり人口の増加を図る。 地域共創プログラムの造成及びブランディングによる釜石ならではの学びを提供するほか、データ分析によるつながり人口の可視化及びワーカーの市内周遊観光を促進し、ワーケーションによる来訪者の増加を目指す。 テレワーク環境を整備することによるワーケーション促進及び滞在日数増加による市内消費額の増加を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ワーケーションを推進するため、新たなテレワーク施設を活用し、釜石ならではのプログラムの造成・提供を行うとともに、首都圏企業への効果的なプロモーションを実施し、さらなるつながり人口（関係人口）の創出を目指す。また、新たなプログラムの受け皿となり得る市内事業者の育成を行い、ワーケーション利用者の増加を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○地域共創ネットワークの高度化に向けた体制強化事業 14,000千円 ・地域共創実証実験事業 6,000千円 ・地域共創ネットワークの高度化に向けた体制強化事業(計8,000千円/コーディネーター配置等4,000千円等) ○つながり人口モニタリング・周遊高度化事業 6,410千円 ・つながり人口データ収集・分析経費 1,500千円 ・混雑状況調査経費(計2,470千円/AIシステム導入等1,760千円等) ・混雑状況調査システム利用料(計2,440千円/システム使用料等360千円等) ○ワーケーション・地域共創プログラム造成事業 6,000千円 ・ワーケーションプログラム開発費 3,000千円 ・地域共創イベント開催費 3,000千円 ○釜石ワーケーションプロモーション事業 4,000千円 ・ウェブサイト制作経費(計4,000千円/ウェブサイト作成更新3,000千円等) ○周遊観光促進モニタリング用備品購入事業 1,500千円 ・e-bike購入支援 1,500千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①つながり人口創出数（+1,632人） ②交付対象事業を通じて獲得したワーケーション利用者数（+105人） ③ワーケーションで市内を訪れたワーカーの直接消費額（+5,787千円） ④交付対象事業を通じて生み出された地域共創プロジェクト数（+5件）					URL ※交付金の具体的な使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	釜石市HP https://www.city.kamaishi.iwate.jp/docs/2020011500106/

事業概要：地域経済基盤強化事業

継続

申請者	岩手県釜石市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	46,434千円 (15,478千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	売上の増加に向けた域外需要の獲得を目指す企業に対し、インターネット上での情報発信に取り組む企業の学びと実践の場を提供することで、地域経済の基盤である中小事業者の維持・発展に寄与する。 起業塾や自営型のテレワーカーの育成を通して、市民のキャリアチェンジ・スキル取得を促し、起業・創業を支援することで、事業者の増加を図り、地域経済の次世代を担うプレイヤーの創出と個人所得の向上に寄与する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 3つのソフト事業を通して、挑戦・行動意欲を持つ人材の掘り起こしと育成を進める。 売上の増加に向けて域外需要の獲得を目指す企業に対し、インターネット上での情報発信力の向上を目指した学びと実践の場を提供する。また、新たな事業者の創出を目指す、起業塾及び自営型のテレワーカーを育成する講座を実施する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○地域企業経営力向上事業 8,538千円 ・地域企業経営力向上事業業務委託経費(計8,538千円/伴走支援費5,364千円等) ○起業挑戦サポート事業 3,920千円 ・起業挑戦サポート事業業務委託経費(計2,600千円/講師謝金等800千円等) ・事業継承コーディネーター業務委託経費(計1,320千円/講師謝金等100千円等) ○自立型テレワーカー育成事業 3,020千円 ・自立型テレワーカー育成業務委託経費(計2,959千円/講師料等600千円等) ・使用料及び賃貸料(計61千円/フリーwi-fi賃貸料等16千円等)						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①市内企業の新規プロジェクト及び起業数(+30件) ②既存事業者の研修参加者数(+30人) ③市民等の研修参加者数(+180人)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	釜石市HP https://www.city.kamaishi.iwate.jp/docs/2020011500106/

申請者	岩手県釜石市						初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	37,160千円 (11,500千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業			
目的・効果	・釜石市で行われているサクラマスの養殖は、令和4年度10月の事業化後、生産量は順調に推移しているものの、養殖事業者は1事業者のみである。種苗提供など、養殖生産に新規参入しやすい環境づくりと、市内外の認知度向上、流通・消費拡大のための仕組み作り、プロモーションを強化し、サクラマスによる地域活性化を図る。 ・磯焼け対策として駆除したウニを利用した産業化のモデルを構築し、漁業者をはじめとする地域全体の収益性の向上を図る。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 サクラマスの養殖生産の新規参入しやすい環境づくりや認知度向上や流通・消費拡大のための仕組み作り、プロモーション強化の取組を行う。磯焼け対策として駆除したウニを利用した産業化モデルの構築を目指す。							
	【R8年度事業 経費内訳】 ○サクラマスに関する事業 10,500千円 ・フォーラム開催経費 248千円 ・サクラマスフェア等PRイベントの開催委託料 1,900千円 ・サクラマスイベント関連消耗品費、印刷製本費 252千円 ・種苗開発費負担金 8,000千円 ・近隣他地域サーモン類生産地と連携した「サーモンツアー」の実施負担金 100千円 ○ウニの畜養に関する事業 1,000千円 ・畜養実施事業者への補助金 1,000千円							
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①釜石市魚市場水揚げ高（+44百万円） ②漁業所得金額（+285千円） ③養殖サクラマス水揚げ量（+55トン） ④釜石産サクラマス取扱事業者数（+6件） ⑤畜養ウニの販売個数（+3,000個） ⑥畜養ウニの取扱事業者数（+15件）						URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年9月公表予定

事業概要：釜石産農畜産物PR事業

継続

申請者	岩手県釜石市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	15,400千円 (4,800千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・当市ならではの農畜産物を広くPRし、販路拡大から生産拡大、農畜産業者の所得向上へ繋ぐ。 ・当市ならではの農畜産物を広くPRし、交流人口増、担い手確保等へ繋ぐ。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 釜石産農畜産物として、農作物（甲子柿、すずこま、梅等の農産物及び鶏肉等の畜産物）のPRを行うもの。 PRを有効的かつ生産拡大等のより大きな実績に繋げるため、PR媒体の作成、イベントの実施と併せて市内農畜産物に対する様々な意見を把握するためのアンケート実施、市内外での釜石産農畜産物の認知度向上に向けた事業を行い、担い手の確保に繋げる。					 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○市内産農畜産物PR媒体作成事業 650千円 ・媒体作成経費(計650千円/印刷製本費400千円等) ○市内産農畜産物PRイベント実施事業 2,150千円 ・イベント関連経費(計2,150千円/需用費500千円等) ○市内産農畜産物認知度向上事業 2,000千円 ・PR経費(計2,000千円)						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①新規就労者数（農畜産業関係）（+3人） ②イベント開催回数（+12回） ③販路開拓数（+4か所）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://kamaishi-gata-nougyo.jp/kamaishi-nouchiku/

事業概要：かまいし歴史文化プロモーションを通じた関係人口創出事業

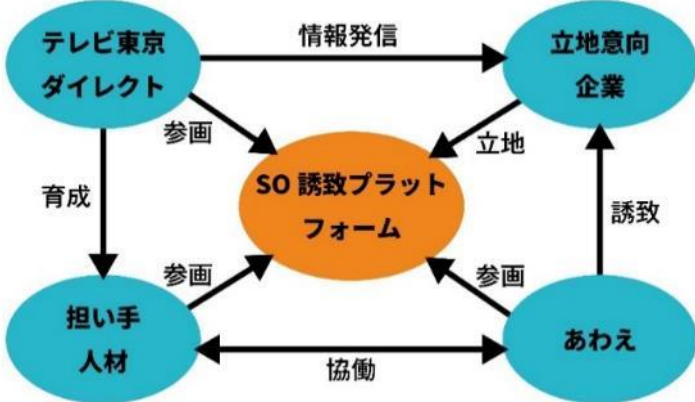
継続

申請者	岩手県釜石市					初回採択回	令和7年度第1回募集	
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	34,512千円 (13,621千円)	
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業			
目的・効果	・将来像『歴史文化をいかし未来をつくるまち 釜石』の実現に向けた環境づくりを行う。 ・釜石の歴史文化や郷土芸能、食文化の潜在的ポテンシャルの見える化を図る。 ・釜石の歴史文化や郷土芸能、食文化より多くの人々の目に常に触れられる仕組みの向上を図る。 ・釜石の歴史文化や郷土芸能、食文化の魅力を発信し、釜石ファンの醸成を図る。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 釜石市の歴史文化を切り口に、その魅力を再発見するとともに、郷土芸能や食文化を中心に据えた取組を行うことで、幅広いプロモーションの実現を図り、地域の活性化と関係人口の創出につなげていく。					       		
	【R8年度事業 経費内訳】 ○かまいし歴史文化活用プロジェクトの実施 12,150千円 ・かまいしの魅力再発見（計379千円/報償費95千円・旅費284千円等） ・かまいしの魅力発見講演会（計458千円/報償費60千円・旅費71千円等） ・かまいし歴史文化コンテンツ作成（計2,959千円/需用費1,092千円等） ・かまいし歴史文化プロモーション総合（計8,354千円/人件費7,407千円等） ○みんなで伝える郷土芸能トライアル 1,200千円 ・郷土芸能体験教室の開催（計493千円/報償費300千円等） ・郷土芸能映像記録保存の実施（計707千円/報償費300千円等） ○かまいしの食文化はっけん事業 271千円 ・食文化座談会（計80千円/需用費80千円） ・食文化講演会（計191千円/報償費30千円・旅費28千円等）							
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①つながり人口創出数（+1,632人） ②観光客全体入込数（+102千人） ③歴史文化関連施設入込数（+897人） ④歴史文化を目的とした観光全体入込数の割合（+2.64%） ⑤郷土芸能活動団体数（±0団体） ⑥講演会・座談会参加者数（+220人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	釜石市HP https://www.city.kamaishi.iwate.jp/docs/2020011500106/	

申請者	岩手県釜石市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	100,789千円 (48,100千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	地域の魅力を引き出す商品を造成・販売することで地域の「稼ぐ力」を高めるとともに、域内消費や地域調達率を上げ地域経済の活性化を目指す。併せて、新たな観光計画の策定をすることで、より具体的な取組を実施し誘客促進と観光消費額の増加を図る。 施設を誘客事業や情報発信の拠点としてイベント等の事業を行うことにより、賑わい創出を図る。また、施設内に特産品等を販売することで観光消費額の増大を図る。この取組を推進するため、物産センターの改修等を図り、施設の耐久性・利便性を強化するとともに施設の長寿命化を図り、観光客等が安心して利用できる施設にする。 自然や環境に配慮した持続可能な観光地域づくりを推進するにあたり、みちのく潮風トレイル及び三陸ジオパーク、世界遺産などを活用した釜石ならではの学びや遊びを提供する場として拠点施設等の整備を行い、市民及び来訪者への理解増進と愛着の醸成を図るとともに、外国人観光客の誘客につなげる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 みちのく潮風トレイル等の自然資源を活用した誘客推進、周年記念イベントやシンポジウムの開催による魅力の発信及び交流人口の拡大を図るとともに、観光拠点施設等の整備による新たな事業の展開、国内外からの誘客促進による来訪者の増加に寄与する。 以上の施策と効果を体系的かつ有効に実施し、今までよりも高次の観光ビジョンの策定やEBPMに基づく効果的な観光プロモーションを展開する。					  釜石物産センター 潮風トレイルウォーク	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○観光地域づくり推進事業 37,691千円 ・観光施策の実施にかかる調査事業(計5,900千円/人件費等3,651千円等) ・みちのく潮風トレイル等を活用した誘客推進事業(計880千円/プロモーション費等300千円等) ・インバウンド対応看板設置 3,100千円 ・釜石物産センター30周年記念イベント 3,000千円 ・釜石市郷土資料展示パネルリニューアル 24,811千円 ○世界遺産を活用した観光地誘客整備事業 3,409千円 ・鉄の周年記念事業(計3,409千円/事業実施委託料等2,196千円等) ○釜石物産センター改修整備事業 7,000千円 ・釜石物産センター改修整備業務 7,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①市内における観光消費額 (+6億円) ②観光客入込数 (+102千人) ③外国人観光客入込数 (+500人) ④体験プログラム新規造成数 (+9個) ⑤体験プログラム新規造成参加者数 (+100人) ⑥つながり人口創出数 (+1,632人)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	釜石市HP https://www.city.kamaishi.iwate.jp/docs/2020011500106/

事業概要：地方と首都圏を結ぶサテライトオフィス誘致プラットフォーム構築による地域活性化事業

旧制度（推進）

申請者	岩手県八幡平市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	51,425千円 (15,235千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	・サテライトオフィス誘致による人口動態の改善と関係人口の創出する ・新産業の集積地としての地位を確立する ・地域課題解決の枠組みから新ビジネスが生まれる基盤を構築する ・担い手人材の育成によるプラットフォームを自走させる		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 事業の自走化に向けて、継続的なリード顧客に対するアプローチを行う他にも、サテライトオフィスとして誘致した企業の事業展開を追う番組などを通じて新規事業開発を支援することで、さらなるインセンティブを提供していく。また、プラットフォームの担い手人材の育成を完成させ、民間人材による独自のメディア活用施策について、多層的に実施可能な体制を構築する。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ○サテライトオフィス誘致支援事業 ・マッチング支援（委託料）1,815千円 ・誘致実務支援（委託料）220千円 ○メディア活用及び人材育成支援事業 ・認知度向上対策（委託料）9,900千円 ・人材育成（委託料）3,300千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①地域における新規雇用者数（+3人） ②本事業によって誘致したサテライトオフィスの立地件数（+4社） ③育成したプラットフォーム人材によるメディア活用施策数（+6件）		URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL https://www.city.hachimantai.lg.jp/soshiki/kizai/28342.html

申請者	岩手県八幡平市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	105,835千円 (33,935千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・生成AI等の先端技術による訪問看護DXモデルを構築し、医療従事者の負担軽減と持続可能な地域医療体制の確保を目指す。 ・産学官医連携の「ネクストバレー構想」を推進し、現場課題を解決するソリューション開発を通じて、新たな産業クラスターを形成する。 ・確立したモデルを全国へ展開（外販）することで、地域外からの外貨獲得と雇用創出を実現し、地域経済の拡大につなげる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 過疎・豪雪地帯である本市を巨大な実証フィールド（サンドボックス）として開放し、市内スタートアップ企業と連携して「生成AIによる看護記録自動化」及び「ウェアラブル端末による遠隔見守りシステム」を開発・実装する。大学研究機関による医学的エビデンスの確立を経て、都市部モデルとは異なる「過疎地適応型・訪問看護DXパッケージ」として製品化し、同様の課題を抱える全国自治体へ展開する。また、現場課題を解決できるエンジニアを育成し、地域産業の担い手とする。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・生成AI活用型看護記録システム及び遠隔診療基盤のプロトタイプ構築（負担金）13,910千円 ・システム導入前の業務実態調査及び都市部モデルとの比較検証（負担金）3,030千円 ・医療現場課題解決型の即戦力エンジニア育成キャンプの実施（負担金）16,995千円						
主なKPI	①地域内企業の付加価値増加額（+6,200万円） ②訪問看護ステーションの訪問受入可能件数増加率（+30%） ③他地域へのシステム有償導入数（+2件） ④地域内での起業・就業に至った高度ICT人材数（+6人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年8月公表予定

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

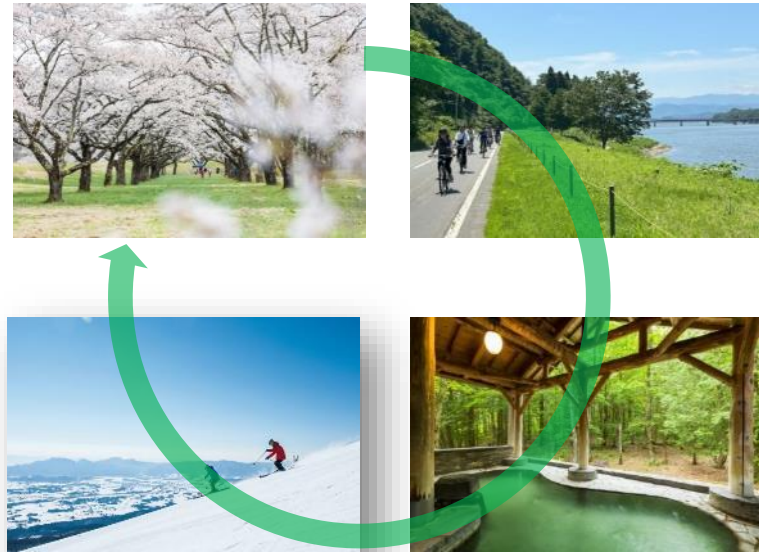
※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

繼續

申請者	岩手県滝沢市						初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	33,530千円 (11,137千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業			
目的・効果	本市には2つの大学の立地と約30社集積しているIT関連企業を軸に、この環境基盤を活かしながら、若い人材の活躍と、IT技術を活用した地場企業の発展を目的とする。それにより、地域課題解決や地域の人材確保に加え、主体性をもち、率先した行動をすることが出来る人材の育成へと繋げるもの。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 上記の「目的・効果」達成のため、以下の3つの事業を実施する。 ①学生人材育成事業 市内で活動する学生に対し「0」を「1」にする伴走型人材育成。 ②若者チャレンジプロジェクト支援事業 社会参加活動へチャレンジする若者に対し、活動に係る経費の補助。 ③IT人材育成モデル構築事業 地域中小企業の課題解決のため、IT産業人材育成事業を実施。						<pre>graph TD subgraph "市の強み" U[大学] I[IT企業群] end U -- "若者" --> B1["・「0→1」を生み出す人材の育成 ・学生の主体的活動の伴走支援"] I -- "企業" --> B2["・ITを活用した地域企業の課題解決 ・IT産業人材の育成"] B1 --> R["若者の定着"] B2 --> D["地場企業の発展"] U <--> "連携交流" I</pre>	
	【R8年度事業 経費内訳】 ①学生人材育成事業委託料 5,545千円 ②若者チャレンジプロジェクト支援事業補助金 1,500千円 ③IT人材育成モデル構築事業委託料 4,092千円							
主なKPI	①20歳～29歳人口減少率（前年比）（+3%） ②チャレンジプロジェクト参加者数（延べ）（+25人） ③小規模事業者持続化補助金採択件数（+9件）						URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.takizawa.iwate.jp

事業概要：地域資源を結び付けた四季折々の魅力発信及び受入環境整備事業

新規

申請者	岩手県雫石町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	131,450千円 (24,400千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・通年でコンテンツ造成及び情報発信の強化を通し、季節変動の大きい観光誘客の平準化を図る。 ・海外旅行会社との連携強化と現地での認知拡大を図り、経済波及効果の高い外国人宿泊者数の拡大を目指す。 ・観光DXの実装とともに物理的に分散する多様な観光資源の連結を進め、地域産業全体の収益機会を拡大する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 町内の多様な観光資源を有機的に連結し、周遊性の向上と観光消費額の増加を図るため、以下の3本柱で事業に取り組む。 (1) ビジネスモデル転換（観光DX・情報発信・受入環境整備） 町全体の受入環境整備及び情報発信力の向上並びに消費動向・来訪者データを分析するためのデジタル基盤整備を進める。これにより、観光事業者の経営効率化と収益向上を図り、町全体の観光産業の高付加価値化を推進する。 (2) 通年型観光コンテンツ造成 アクティビティ分野のコンテンツの強化と、事業者による新規事業の立ち上げ支援等により四季を通じた多様な観光資源の磨き上げを行う。これにより、町内各地への誘客と地域産業全体の収益機会拡大を実現する。 (3) インバウンド誘客促進 現地での商談会出展や海外市場向けイベント参加等を通してインバウンド需要を安定的に獲得する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・ビジネスモデル転換事業（情報発信ほか） 1,600千円 ・四季を通じた観光コンテンツ造成事業 20,000千円 ・インバウンド誘客促進事業 2,800千円						
主なKPI	①観光消費額（+11億62百万円） ②延べ宿泊者数（+20,000人） ③外国人宿泊者数（+8,900人） ④来訪者アンケート調査において、公共交通の満足度に「不満」「やや不満」と回答した割合（▲1.1%） ⑤冬季誘客イベント参加者数（+2,000人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年9月公表予定

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

事業概要：新たな起業及び地域資源創出による持続可能なまちづくり事業

新規

申請者	岩手県岩手町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	67,000千円 (26,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	新たな地域資源の創出や起業創業支援の環境整備に取り組むとともに、ステークホルダーをはじめ関係者及び関係企業等との連携により、共創型の新しいビジネスモデルの創出や雇用機会の拡大を促進することで、地域のブランド化を図り、町内外の若年層から「選ばれるまち」に発展させ、経済活力及び地域力が高い持続可能な地域を目指すものである。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 人口減少や少子高齢化、地域力及び経済活力の縮小などの地域課題解決のため、町外の起業検討者や事業者を誘致、共創型のビジネス創出などを図る「起業家誘致プログラムの実施」、地場産品の販路拡大や地域資源のブランド化を推進する「地場産品の販路拡大及び地域資源ブランディング支援」、地域資源を活用して、新たな地域資源の創出を図る「既存地域資源の活用及び新たな地域資源創出」、また、起業の挑戦者を増加させ、その人材の支援や、創出されたプログラムを支援する「起業チャレンジの支援」の4つの取組を実施することで起業家の誘致、新たな関係人口の増加、課題解決の促進を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○起業家誘致事業（委託料） 8,800千円 ○地場産品販路拡大・地域資源ブランディング事業（委託料） 6,300千円 ○地域資源創出事業（委託料） 6,900千円 ○起業チャレンジ創出事業（委託料） 4,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における起業者数（+9者・社） ②販路拡大またはブランド化に伴う地域資源流通増加額（+4,500千円） ③新たに創出した地域資源（+4件） ④創出したチャレンジプログラム（+4件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和9年7月公表予定

事業概要：岩手町沼宮内高等学校第2 学生寮増築事業

新規

申請者	岩手県岩手町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	180,860千円 (180,860千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・沼宮内高等学校と地域・産業・行政が連携し、学びと実践を結びつける環境を整備することで、若者の育成と地域活力の好循環を生み出すことを目的とする。あわせて、人口減少社会を前提とした持続可能な地域づくりを推進し、岩手町における将来の担い手確保と地域経済の活性化を図る。 ・高校生が地元産業と密接に関わる機会を持つことで、地域への愛着や理解が深まり、将来的な就業・起業へと繋げる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 岩手町では、人口減少と少子高齢化が進行し、特に若年層の町外流出が顕著であり、将来の地域産業の担い手不足が懸念されている。この課題に対応するため、町内唯一の高校である岩手県立沼宮内高校の学生寮を増築し、都市部からの生徒受け入れを拡大する。寮を増設することで県外からの入学生が増えることにより、県外生徒が地元産業や地域課題に触れる機会が増え、地域への理解と愛着を高めることが期待される。地域企業と連携した学びの場を提供し、将来的な就業・起業へと繋げることで、若者の地元定着と地域活力の向上を図り、持続可能な地域づくりを推進する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 第2 学生寮増築（18部屋、共同風呂・トイレ・洗面所、食堂・厨房、管理人室） ・工事請負費（設計含む） 178,860千円 ・備品購入費 2,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①岩手町への移住者数（+15人） ②都市部等の県外からの沼宮内高校入学者数（+14人） ③沼宮内高校入学者数（町内含む）（+28人） ④課題解決型人財の育成に向けた環境及び人財の能力・意識に係る指標（+17%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://town.iwate.iwate.jp/

事業概要：地域資源を活かした農村価値向上と人材育成によるまちづくり事業

継続

申請者	岩手県紫波町					初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	947,110千円 (232,736千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	体験農園や園内通路、エリア内の修景機能をもつ園庭（ノウルガーデン）の整備、町内の特産物等の利用したレストラン等やマーケット機能、温浴施設等の魅力向上施設の整備、お試し住宅の整備により、若者にとって魅力あるまちづくりと移住・定住を実現するための施設として利活用を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 校舎を農業等の体験施設などを備えた複合施設として改修し産業振興と併せて人材の育成、定住促進を図るとともに、利用者の利便性向上のために周辺道路改良及び駐車場整備を実施する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・ノウルセンター整備 改修工事負担金 155,430千円 ・ノウルセンター整備 改修工事監理委託費 17,600千円 ・備品類購入費用 5,824千円 ・ノウル駐車場整備 既存施設除却費用 17,550千円 ・ノウル駐車場整備 駐車場整備工事費 26,332千円 ・長岡農村公園付随道路改良事業 10,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①事業を通じた新規雇用者数（+10人） ②地区の転入出者数（+54人） ③ノウルガーデン利用者数（+8,200人） ④地元事業者の関連事業者数（+11人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） （効果検証） https://www.town.shiwa.iwate.jp/soshiki/4_1/2_13_machihitoshigoto/762.html/

事業概要：Re:公民連携プロジェクト

継続

申請者	岩手県紫波町					初回採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	65,412千円 (60,650千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	公民連携事業により得られた地方創生推進に係る効果を検証し、今後展開する事業へとつなげる オガールプロジェクトの核施設である「オガールプラザ」の、リニューアルを行う						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 オガールプロジェクトを中心に紫波町が行ってきた公民連携事業の効果を検証し、全国に発信することで公民連携の知見を展開する。 建設から15年が経過する官民複合施設「オガールプラザ」について、施設のリニューアルを行い「稼ぐインフラ」としての機能を強化する。 改修工事は、施設を共同で所有する第3セクター(株)オガールプラザと共同で行い、共有部及び民間所有部分の工事を一括して(株)オガールプラザが発注・施工管理を行うことで、工事の効率化とコスト削減を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・公民連携を振り返り、未来を考えるシンポジウム・講演会等の開催 350千円 ・公民連携検証・検討委員会の開催に関する経費 300千円 ○拠点整備事業 ・建築物本体工事 工事負担金 60,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①紫波町情報交流館の来館者数 (+97,000人) ②オガールプロジェクト等に関連する紫波町への有料視察件数 (+68件) ③オガールエリア内の来場者数 (+190,000人)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	(交付金の具体的使途・実施体制・効果検証) https://www.town.shiwa.iwate.jp/soshiki/4/2_13_machihitoshigoto/762.html/

事業概要：バレーボールを活用した暮らし心地向上事業

継続

申請者	岩手県紫波町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	219,582千円 (93,579千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	スポーツを通じて県内外からの交流人口・関係人口を拡大し、当町および岩手全体の認知度向上と地域活性化を図る。あわせて、地域住民の参画や若者の地元回帰を促進し、地元への誇りと愛着を育む持続的な地域づくりにつなげる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 当町が育成してきた「バレーボール」を核に、民間事業者および県内市町村と連携した広域的なスポーツ交流事業を展開する。日本代表・海外ナショナルチームの合宿やエキシビションマッチの誘致、地元社会人クラブチームの新社会人リーグ参入支援を通じ、継続的なスポーツイベントと交流の場を創出する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業経費（実施主体は実行委員会） 実行委員会運営費負担金 ・事務経費 22,657千円 ・情報発信業務経費 3,620千円 大会開催負担金 ・ナショナルチーム経費 50,682千円 （大会スタッフ謝金・旅費、大会用消耗品、イベント保険料、代表選開催負担金、会場設営業務委託料、会場・車両使用料） ・新社会人リーグ経費 12,220千円 （新社会人リーグ開催負担金、会場設営業務委託料、アウェイ派遣旅費） 地域コミュニティ開発・人材育成プログラム事業負担金 ・事業委託料 3,300千円 スポーツマーケティング事業負担金 ・事業委託料 1,100千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①町人口の社会増（+30人） ②スポーツイベントの来場者数（+9,100人） ③スポーツイベントの開催回数（+17回）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.shiwa.iwate.jp/soshiki/4_1/2_13_machihitoshigoto/762.html/

事業概要：次世代型アグリ産業構築プロジェクト

新規

申請者	岩手県紫波町					初回採択回	令和8年1月募集			
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	43,269千円 (10,469千円)			
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業					
目的・効果	・若者が当たり前のように農業を職業の選択肢として考え、町外からも「紫波の農に触れたい」という人々が交流する。 ・農業が地域の誇りや住民のウェルビーイングへと還元されて新しい投資や人材を呼び込むという循環を作り、しなやかで強固な産業の好循環を実現する。 ・農業という地場産業を軸に周辺産業への波及効果や雇用の創出を多角的に生み出すものであり、町全体の経済規模を維持・拡大させ、産業として自立・発展させる。									
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 多様な主体の参画による労働供給を目指す「インクルーシブコミュニティ畑」、次世代の経営者を育む「農業者育成アカデミー」、生産と消費が交わる拠点「ノウルガーデン」のエディブルパーク化を一体的に推進し、単なる農産物の生産に留まらず、一次加工やエディブルパークを通じた消費者との直接的な接点創出により、担い手確保と付加価値の地域内循環を両立する、紫波町独自の持続可能な次世代型アグリビジネスモデルを確立する。									
	【R8年度事業 経費内訳】 <table><tr><td>・インクルーシブコミュニティ畑推進業務委託料</td><td>2,000千円</td></tr><tr><td>・次世代農業者育成アカデミー開校検討</td><td>1,000千円</td></tr><tr><td>・ノウルガーデンエディブルパーク推進事業</td><td>7,469千円</td></tr></table>								・インクルーシブコミュニティ畑推進業務委託料	2,000千円
・インクルーシブコミュニティ畑推進業務委託料	2,000千円									
・次世代農業者育成アカデミー開校検討	1,000千円									
・ノウルガーデンエディブルパーク推進事業	7,469千円									
主なKPI	① 町内の新規就農者数(+24人) ② インクルーシブコミュニティ畑事業の参画者数(+363人) ③ エディブルパークに関連する新規商品開発数 (+7品)					URL	(交付金の具体的使途・実施体制・効果検証) https://www.town.shiwa.iwate.jp/soshiki/4/2_13_machihitoshigoto/762.html/			
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値						※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL				

事業概要：西和賀町北部活性化拠点施設整備事業

新規

申請者	岩手県西和賀町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	244,397千円 (7,704千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・人口減少が進む町北部地域において地域資源を活用した北部地域活性化拠点施設を整備し地域の主体において運営 ・山菜や乳製品など北部地区の強みを生かした拠点施設の運営により、地域の魅力を発信するとともに経済力を高める ・日用品の購入や公金の支払い、年金の払い戻しなど日常生活の課題解決機能も備えることで持続可能な地域運営を支援						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 人口減少が進む町北部地域において、地域資源を活用し旧貝沢小学校跡地に北部地域活性化拠点施設を整備。北の玄関口として、地域の主体において運営する。 山菜や花きといった北部地域の農産物や地場企業により製造された乳製品、地ビールなど地域の食資源や自然環境など強みを生かして運営することで地域経済を活性化するとともに、日用品の購入や公金の支払い機能を備えることで、地域の課題解決につなげようとするもの。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・実施設計業務委託費 7,204千円 ・補助金（施設運営組織体制づくり支援）500千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①町内における観光客の入れ込み者数（+23,798人） ②町内における花卉販売額（+1,000万円）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和9年3月公表予定

事業概要：船越家族旅行村・観光拠点整備事業

継続

申請者	岩手県山田町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	155,351千円 (127,614千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	船越半島の入口である船越家族旅行村を拠点施設として整備し、利便性や安全性の向上を図るとともに、観光客入込数の回復、交流人口の拡大を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 (1) オートキャンプ場再開に向けた整備 船越家族旅行村オートキャンプ場は令和元年東日本台風で被災しており、営業再開できない状況となっている。営業再開のため、近接するものの、被災しなかった多目的広場にサニタリーハウスの整備及びキャンプ場電源及び照明設備を整備し、安全性を確保したうえで、みちのく潮風トレイル等の船越半島のアウトドアの拠点とする。 (2) サニタリーハウス跡地の整備 令和元年東日本台風で被災したサニタリーハウスを解体し、その跡地を活用してオートキャンプ場を含めた船越家族旅行村の利用者の憩いの場として整備することで、利用者の満足度を高め、相乗効果を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・サニタリーハウス建築工事 72,198千円 ・トイレ棟改修工事 29,262千円 ・キャンプ場電源及び照明灯設置工事 24,334千円 ・岩手朝日放送を活用したPR 1,320千円 ・サニタリーハウス備品購入 500千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①年間観光入込客数（+1万人） ②年間宿泊者数（+3千人） ③観光消費額（+2億8千円）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.yamada.iwate.jp/

事業概要：船越家族旅行村・水辺公園整備事業

新規

申請者	岩手県山田町						初回採択回	令和8年1月募集					
事業計画期間	R8-R9年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	299,510千円 (146,815千円)					
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業								
目的・効果	パークゴルフ場管理棟兼休憩施設や水辺公園周辺の園路を新たに整備することで、利用者の利便性と安全性を図るとともに、交流人口の拡大及び観光誘客が増加することで地域の飲食店や宿泊施設、交通機関などの利用が促進され、地場産業の活性化につながる。 また、旅行村周辺には、公園や科学館などの町営施設が点在している他、町内に3か所ある海水浴場のうち、2か所が開設されている。夏季には多くの観光客が訪れるが、それ以外の季節の集客が課題となっていたが、今回の整備によりパークゴルフ4コース36ホールを日本パークゴルフ協会公認コースにすることにより、県大会規模の大会を誘致することで、町内経済活性化を図る。												
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 （１）パークゴルフ場利用者の管理棟兼休憩施設及び駐車場の整備 パークゴルフ場を整備することにより、町民の健康づくりの場としての意味合いの他、観光集客も期待できるため、コース単体だけではなく管理棟兼休憩施設の整備をすることにより、観光地としての魅力を高める。また、施設整備を行うことで公認コースとしての認定を受けられるようになり県大会規模の大会誘致が可能となるため、多くの競技者が来町することとなり、地域の飲食店や宿泊施設、交通機関などの利用が促進され、地元経済の活性化につながる。 （２）園路及び人道橋の整備 水辺公園周辺はチューリップ等の花壇や子供向けの遊具などがあり、町民の憩いの場であるのと同時に町外からも家族連れが多く訪れる観光スポットでもある。沼周りを周回できる園路を整備することで、パークゴルフを目的として来た人々がプレイ後に散策でき、季節に応じたライトアップ等を行うことで観光集客を図る。												
	【R8年度事業 経費内訳】 <table><tr><td>○パークゴルフ場管理棟建築工事</td><td>106,216千円</td></tr><tr><td>○駐車場及び園路整備工事</td><td>24,942千円</td></tr><tr><td>○人道橋実施設計</td><td>4,000千円</td></tr><tr><td>○管理棟備品購入</td><td>11,657千円</td></tr></table>								○パークゴルフ場管理棟建築工事	106,216千円	○駐車場及び園路整備工事	24,942千円	○人道橋実施設計
○パークゴルフ場管理棟建築工事	106,216千円												
○駐車場及び園路整備工事	24,942千円												
○人道橋実施設計	4,000千円												
○管理棟備品購入	11,657千円												
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（+2億8千万円） ②パークゴルフ場利用人数（+10,590人） ③年間観光入れ込み客数（+12,500人）						URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.yamada.iwate.jp/					

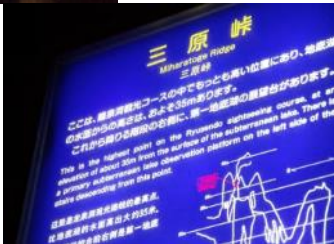
事業概要：オランダ島整備事業

新規

申請者	岩手県山田町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	293,482千円 (214,444千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	オランダ島は町の観光の要となるスポットであり、海水浴シーズンになると、町内外から上陸可能かどうかの問い合わせが多くあり、オランダ島の人気の高さがうかがえる。ニーズに応え、更なる観光誘客につなげるためにも、上陸可能な状態に整備し、オランダ島を活用した観光PRに取り組む。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ○オランダ島を利活用した観光PR 本町のシンボルであるオランダ島を観光資源として最大限に活用する。 （１）栈橋の整備工事 係留施設である栈橋を再整備することにより、島に観光客が上陸できるようになり海水浴場の再開が可能となる。 （２）海水浴場の開設 海水浴場を開設し、東北唯一の「無人島海水浴場」としてのPRポイントを生かし、観光誘客に取り組む。 現在整備している家族旅行村オートキャンプ場を宿泊の拠点とし、海水浴を目的とした観光客の町内周遊を図る。 （３）PRイベントの開催 栈橋の完成後は、イベント開始が可能となる。山田湾の特徴である穏やかな波を生かしたマリンスポーツや海を生かした内容のイベントを開催し、交流人口拡大を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・栈橋整備工事 193,201千円 ・既存栈橋解体撤去工事 21,243千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（+2億8千万円） ②オランダ島利用者数（+5,000人） ③体験型観光体験者数（+800人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.yamada.iwate.jp/

事業概要：龍泉洞魅力化向上プロジェクト

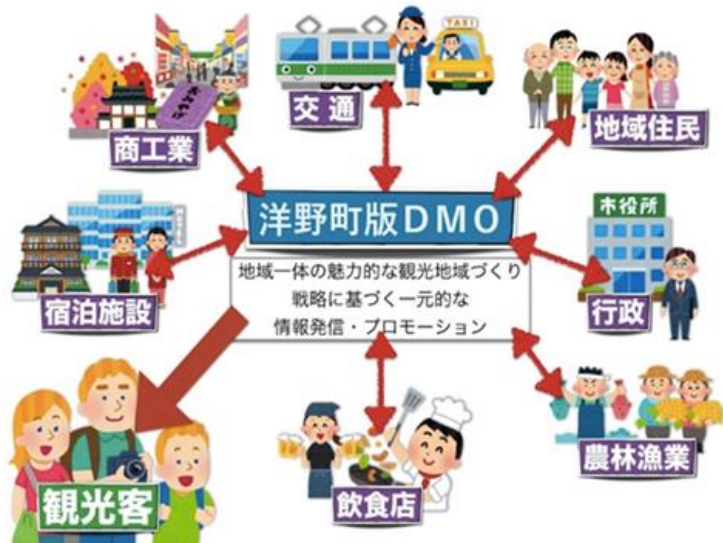
新規

申請者	岩手県岩泉町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	99,740千円 (78,448千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	龍泉洞は、みちのく潮風トレイル、宮古港やニューヨーク・タイムズ紙で盛岡市が「2023年に行くべき52か所」の2番目に選ばれたことによりインバウンド客を含めた国内外の観光客が訪れるなど、観光需要が高まっていることから、多言語案内などにより龍泉洞の魅力を向上し、更なる誘客を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 龍泉洞内に既存の案内板や音声案内はあるが、音声案内は3か所で日本語のみであり、インバウンド客に対応できていない状況であることから、十分な受け入れ態勢を整えるため、多言語対応の洞内案内を提供する。AR技術によるデジタル案内により、龍泉洞の知られざる部分の魅力をより多く提供し、入洞者数の増加を図る。 また、当町では、来訪者増加対策の実施と並行して、町内物産観光事業者30者で構成する組織により、この地ならではの特産品（龍泉洞内の老朽化した歩廊板を活用した商品など）を開発しており、今後は、事業者間連携により種類を増やし、購買力の強化を図る。					 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・龍泉洞洞内解説映像コンテンツ制作業務（委託料）14,841千円 ・洞内Wi-Fi環境整備事業（工事請負費）2,640千円 ○拠点整備事業 ・Wi-Fi環境整備事業（電気通信設備工事）60,967千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①龍泉洞エリアの観光消費額（+2,500万円） ②龍泉洞入洞者数（+5,000人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	R9年9月開設予定

申請者	岩手県洋野町					初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	93,500千円 (21,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	町に関係する全ての人材のデジタル技術の導入及び活用スキルアップを推進することで地域全体のITリテラシーの底上げや情報発信力の強化を図り、町の認知度の向上、地域経済の活性化や賑わい創出等にオールHIRONO体制で取り組み若い世代だけでなく地域住民全てにとって将来にわたり住み続けたい町の実現を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 地方創生の実現における構造的な課題を解決するため、当町の地域資源や魅力などの多角的な情報発信や体制強化、デジタル技術の積極的な導入や活用スキルの向上、地域産業の人材確保の取り組みを複合的に展開する。取り組みで築いた成果や土壌を活用して効果的な事業を展開するほか、事業効果を増幅させる拠点として、「地域情報ポータルサイト」と「町にぎわい創造交流施設ヒロノット」の一層の利活用とシンボル化を進めることで、課題解決に向けた波及効果のサイクルを確かなものにしていく。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・地域情報ポータルサイトの運用改善・機能拡充（委託料）4,000千円 ・デジタル人材育成・確保セミナー開催（委託料）3,000千円 ・お試しウェブマスター派遣（委託料）6,000千円 ・町にぎわい創造交流施設ヒロノットの拠点化促進（委託料）3,000千円 ・移住・お仕事相談イベント等出展（委託料）2,000千円 ・町内事業者の採用力向上セミナーの開催（委託料）1,000千円 ・教育と連携した産業人材育成・確保対策（委託料）2,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①事業を通じて移住に至った人数（産業人材含む）（+39人） ②事業を通じて町内企業等に就職した人数（+132人） ③IT人材の育成・確保を実現するセミナーの参加人数（+880人） ④デジタル技術の導入及び活用スキルアップを図る取り組みを通じてデジタル化に取り組んだ企業数（+265社）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	ひろのポータルサイト https://portal.town.hirono.iwate.jp 洋野町公式ホームページ https://www.town.hirono.iwate.jp

事業概要：洋野町版DMOによる持続可能な観光地域づくり事業

継続

申請者	岩手県洋野町					初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	139,142千円 (25,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	観光による『稼ぐ力』を引き出すとともに、地域への誇りと愛着を醸成する地域経営の視点に立った観光づくりを促進していくため、官民連携による新組織である「洋野町版DMO」を構築し、マーケティング調査・分析に基づいて、プロモーション活動や着地型観光ツアーの開発、ECサイトの構築等を実施し、地域の農漁業、商工業、サービス業等につながる深い観光事業をさらに推進し、観光による持続可能な地域づくりを目指していく。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 (1) マーケティング・プロモーション業務 インバウンド需要を考慮し、JNTO及び東北観光推進機構を通じて情報発信を継続し、海外旅行者を町内に呼び込むためのプロモーション活動を行う。また、登録DMOの認定に向け、観光地経営戦略の策定に向けた調査・分析を行う。 (2) 着地型観光推進業務 体験プログラムや着地型観光ツアーを引き続き実施するとともに、町内の施設を活用した合宿誘致プロモーションを実施する。 (3) 地域商社事業 ECサイト等により、町の観光物産を一元的に販売するとともに、新商品開発に取り組む。また、国内外等で開催される物産展等へ出向き、販路拡大及びプロモーション活動を行う。						
	【R8年度事業 経費内訳】 (1) マーケティング・プロモーション業務 15,000千円(委託料) (2) 着地型観光推進業務 5,000千円(委託料) (3) 地域商社事業 5,000千円(委託料)						
主なKPI	①交流人口入込数(観光入込者数) (+290,000人) ②着地型旅行商品数 (+9本) ③SNS等への投稿回数 (+175件) ④町観光協会ホームページアクセス件数 (+24,000件)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	(交付金の具体的使途・実施体制) https://www.town.hirono.iwate.jp (効果検証) https://www.town.hirono.iwate.jp

事業概要：ひろのワークスタイルイノベーション推進事業

継続

申請者	岩手県洋野町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	69,000千円 (23,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	新たな産業を生み出す起業支援強化や、職種の選択肢を増やすための企業・人材の誘致及び育成、多様な働き方やキャリア形成を支援するための学習機会の提供等を通じ、若年層や女性などが地域に誇りを持ちながら活躍する働き方及び、その活躍に多様な人々が惹きつけられ新たな産業や人材を生み出す持続可能な働き方「ひろのワークスタイル」の構築及び確立に取り組むことで人口減少の抑制を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 若者への起業家精神教育、テレワーク推進による働き方改革や移住者獲得、起業家誘致と育成による地域活性化の3本柱で、本町における新しい働き方の確立による地域経済の活性化と人材育成による人口減少抑制に取り組む。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・学生スタートアッププログラム推進事業 学生スタートアッププログラム推進業務委託料6,000千円 ・テレワーク導入・定着支援事業 テレワーク導入・定着支援業務委託料5,000千円 ・起業家創出プログラム運営事業 起業家創出プログラム運営業務委託料12,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①プログラム受講者から生まれた起業家数（+15者） ②プログラム受講者から生まれた新規事業創出件数（+15件） ③事業を通じた新規雇用者数（+31人） ④事業を通じたテレワーク導入事業者数（個人事業主、副業・兼業者含む）（+25者）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.town.hirono.iwate.jp （効果検証） https://www.town.hirono.iwate.jp